

外国人との“共生”を考える

言語や文化の異なる人々と共に生きる社会のあるべき姿は！

群馬県には現在5万人を超える外国人が住んでいます。人口比では約2.7%、全国では第3位。地域経済や社会の欠かせない人材になっています。



元気に働く在日外国人

外国人が日本社会で暮らしていくためには、言葉や習慣などたくさんの壁があります。例えば、ゴミ捨て一つとっても、日本の規則がわからないためにトラブルになったりします。

一方で、地域の祭りや町内会に参加したり、あるいは災害時にボランティアとして進んで地域のために活動しようとする外国人もいます。

これからもさらに多くの外国人の増加が見込まれています。わたくしたちは、外国人とともに地域の中でどう暮らしていけばよいのか、今回のシンポジウムでは、外国人が生活していくうえで関心の高い保健・医療等の地域の課題を中心に、群馬においてともに生きる地域社会のあるべき姿について考えます。



医療通訳者養成ロールプレイの様子



大学で学ぶ留学生

第1部 基調講演

外国人を受け入れていくにあたっての心構えや地域の在り方について

＜講師＞ 首都大学東京
丹野 清人 教授

日時

2018年

12月12日 水

13:00 ~ 16:20

会場

群馬県社会福祉総合センター
8階 大ホール

群馬県前橋市 新前橋町13-12 TEL.027-255-6000

第2部 座談会

「外国人との“共生”を考える」

＜座長＞ 山口 和美
(NPO群馬の医療と言語・文化を考える会理事長)

＜パネリスト＞

宮崎 瑞穂 (前橋ロータリークラブ会長、前橋赤十字病院名誉院長)

清水 澄 (学校法人NIPPON ACADEMY理事長)

菊池 文也 (社団法人アジア人材バンク理事長)

原 美雪 (医療通訳者
NPO群馬の医療と言語・文化を考える会副理事長)



※駐車場は施設の無料駐車場がありますが、満車の場合は近くの有料駐車場をご利用ください

講師プロフィール・お申し込みは裏面へ